

第12表 木製品観察表

()は径長を示す

No.9

番号	区	地区	部位・産地	種類	質量 cm	特徴	特徴	備考
第71区 371	3	D06LD	第8産地 120-OS	枕	長 (41.5) 幅 5.2 厚さ 3.2			
第71区 372	3	D06LD	第8産地 126-OS	枕	長 (49.8) 直径 4.0		丸太枕	
第71区 373	3	D06LD	第8産地 126-OS	枕	長 (27.8) 直径 5.7 幅径 5.1			
第71区 374	3	D06LD	第8産地 126-OS	枕	長 (22.3) 直径 6.6			
第71区 375	3	D06OC	第8産地 125-OS	枕	長 (18.0) 幅 8.8 厚さ 5.75			
第71区 376	3	D06OC	第8産地 126-OS	枕	長 (30.0) 幅 3.35 厚さ 2.45		角柱。	
第71区 377	3	D06LD	第8産地 126-OS	用途不明品	長 (81.8) 幅 (5.6) 厚さ 1.6		両面平らで、両端は狭くなる。	
第71区 378	3	D06LY	第8産地 126-OS	枕	長 (82.2) 幅 5.3 厚さ 4.9		側面の2カ所に5.5cm×2.0cmの 長方形の孔をもつ。	
第72区 379	3	D06LJ	第8産地 127-OS	枕	長 (36.0) 直径 4.1			
第72区 380	3	D06LJ	第8産地 127-OS	枕	長 (32.6) 幅 12.4 厚さ 5.1			
第72区 381	3	D06KH	第8産地 127-OS	枕	長 (38.4) 直径 6.1			
第72区 382	3	D06LJ	第8産地 127-OS	枕	長 (5.7) 直径 2.5			
第72区 383	3	D06LJ	第8産地 127-OS	枕	長 (11.4) 直径 2.5			
第72区 384	3	D06OF	第8産地 128-OS	枕	長 (72.6) 幅 6.4 厚さ 2.2		一端のみ細くなる。	
第72区 385	3	D06NJ	第8産地 130-OS	枕	長 (65.5) 幅 8.2 厚さ 2.9	アスナロ	一端のみ幅を狭くする。ノミ工 具痕が明確に残る。	

第12表 木製品観察表

() は残長を示す

No.10

番号	区	地区	層位・遺構	種類	数量	副産	特徴	備考
第7302 386	3	D00FII	第9遺構西 ベース層	曲柄	長 (30.1) 直径 4.5 紐径 2.6		一木作り曲の柄。	
第7303 387	3	D10SEI	第6遺構西 ベース層	杖	長 (53.6) 幅 6.1 厚さ 4.9			
第7302 388	3	D10SD	第5遺構西 ベース層	杖	長 (27.8) 直径 5.4 紐径 4.8		元太の4面を削る。	

第13表 石器観察表

No. 1

番号	区	地区	層位・遺構	種類	長さ 幅 厚 重	石 材	特 徴	備 考
第1485 8	5-3	D15PF	第1遺構面 ベース層	スクレイパー	長 幅 厚 重 100.0 47.0 17.0 79.54	サヌカイト	一側縁に細部調整が、一側縁には使用痕がある。 表面に風化面。	
第1489 9	4	D09WN	第1遺構面 ベース層	ハンマーストーン	長 幅 厚 重 48.0 18.0 17.5 42.66	サヌカイト	使用痕。	
第368 136	5-3	D15GM	第5遺構面 440-OR	石鏃	長 幅 厚 重 36.0 11.0 2.0 6.82	サヌカイト	凸基無蓋式。 先端欠失。	
第368 137	3	D15SP	第5遺構面 ベース層	磁石	長 幅 厚 重 96.3 40.0 12.0 119.85	磨礫石安山岩	両面に切創痕。	
第368 138	3	D10UL	第5遺構面 ベース層	石包丁	長 幅 厚 重 79.6 47.0 4.0 24.06	泥質片岩	直縁刃。横方向の縁かい石の目が入る。約1/2程、全体に割傷が著しく、割創後、一部研磨している。	
第368 139	1	D10FU	第5遺構面 ベース層	石斧?	長 幅 厚 重 91.0 42.0 20.0 128.64	片麻状黒雲母 花崗岩	表面風化著しい。	ハンマーストーン の可能性あり。
第368 140	1	D10PV	第5遺構面 ベース層	石鏃未製品	長 幅 厚 重 118.5 29.5 17.8 64.34	サヌカイト	目面右下側に大きな割傷面あり。先端付近に細部調整。	
第368 141	1	D10KS	第5遺構面 ベース層	スクレイパー	長 幅 厚 重 77.5 37.5 20.0 51.23	サヌカイト	目面に風化面。	
第368 142	1	D10GJ	第5遺構面 ベース層	不定形刃器	長 幅 厚 重 66.0 33.5 15.0 56.40	サヌカイト	背の一部に風化面残す。	旧石器?
第368 143	3	D10KJ 東側溝	第5遺構面 ベース層以下	銅片	長 幅 厚 重 48.0 49.0 20.0 48.60	サヌカイト	使用痕あり。 目面に風化面。	
第368 276	1	D10IN	第6遺構面 118-OR	磁石	長 幅 厚 重 77.0 29.0 28.0 139.21	磨礫岩A	切創痕は1面に特に顕著に見られる。	
第368 277	1	D10JO	第6遺構面 118-OR	銅片	長 幅 厚 重 62.6 37.0 18.0 34.77	サヌカイト	大きな鋭い割傷面で構成される。 一部に細部調整あり。目面に風化面。	旧石器
第368 278	3	D10XC	第6遺構面 118-OR	石鏃	長 幅 厚 重 35.0 22.8 5.0 3.47	サヌカイト	凸基有蓋式。 目面に一部風化面。	
第368 279	3	D08NV	第6遺構面 ベース層	石鏃	長 幅 厚 重 26.2 19.0 3.5 3.60	サヌカイト	上下端欠。	
第368 280	5-2	D14DY	第6遺構面 ベース層	尖頭鏃	長 幅 厚 重 76.0 32.1 15.0 38.54	サヌカイト	基部が大きく突出する。 両側縁に細部調整。	

第13表 石器観察表

No. 2

番号	区	地区	層位・遺層	種類	流量 g	石材	特徴	備考
第6300 281	5-2	D18EB	第6遺構面 ベース層	スタレイバー	長 66.5 幅 37.2 厚 19.0 重 52.49	サヌカイト	A面には細部調整あり。 B面は斜削面残る。	
第6300 326	4	D09VM	第7遺構面 ベース層	勾玉	長 22.5 幅 11.5 厚 6.5 重 2.95	滑石	全体として、きれいに磨かれています。	
第6300 327	5-2	D18EB	第7遺構面 ベース層	大型石包丁	長 76.0 幅 60.0 厚 7.0 重 44.31	結晶片岩	灰緑色。A面には縦方向の条線。 B面は斜削面残る。刃部付近に条線。	
第6300 328	5-2	D14BY	第7遺構面 ベース層	翼状削片?	長 47.5 幅 19.5 厚 7.5 重 5.28	サヌカイト	ややびつな形勢。	旧石器
第6300 329	7	D09	第7遺構面 ベース層	スタレイバー	長 63.5 幅 50.0 厚 21.0 重 88.03	サヌカイト	肉厚。背に風化面。	
第6300 330	3	D09EX	第7遺構面 ベース層	スタレイバー	長 68.0 幅 30.5 厚 15.3 重 30.61	サヌカイト	一部に粗い細部調整。 B面に風化面。	旧石器
第6300 331	5-2	D18CB	第7遺構面 ベース層	スタレイバー	長 56.0 幅 48.0 厚 21.5 重 62.41	サヌカイト	刃部に粗い細部調整。 肉厚。付着物あり。風化面強い。	旧石器
第6300 332	7	D09NM	第7遺構面 ベース層	スタレイバー	長 34.0 幅 35.0 厚 10.0 重 17.82	サヌカイト	両面に使用痕。	
第6300 333	7	D09	第7遺構面 ベース層	削片	長 45.0 幅 27.0 厚 8.0 重 10.03	サヌカイト	使用痕あり。 B面は主割断面。	
第7400 389	3	D10LH	第8遺構面 127-C5	スタレイバー	長 75.0 幅 45.2 厚 18.5 重 67.68	サヌカイト	背およびA面に風化面。	
第7400 390	5-3	D15FH	第8遺構面 ベース層	石鏃	長 26.5 幅 18.0 厚 3.8 重 0.89	サヌカイト	凹茎無茎式。わたくり深い。 溝跡は、細部調整によって顕著。	
第7400 391	3	D10E	第8遺構面 ベース層	石包丁	長 155.0 幅 51.0 厚 19.0 重 102.68	流紋岩A	外側刃。灰白色。紐かけ孔の 周縁磨耗。紐かけ孔から背にか けて掛け紐の痕跡あり。	
第7400 392	3	D10QJ	第8遺構面 ベース層	石包丁	長 155.0 幅 54.0 厚 6.0 重 98.75	玄武岩質凝灰 岩質片岩C	片方の直線刃。暗灰色。紐かけ 孔は背の方より片寄り紐かけが認 められる。	
第7400 393	5-3	D15BC	第8遺構面 ベース層	不定形刃鏃	長 102.0 幅 43.3 厚 12.5 重 70.16	サヌカイト	縦長。両側縁に細部調整。基部 には風化面。	
第7400 394	3	D09SU	第8遺構面 ベース層	石鏃	長 61.0 幅 31.0 厚 7.0 重 10.51	サヌカイト	先端付近に細部調整。基部には 風化面。	

第13表 石器観察表

No. 3

番号	区	地区	層位・遺構	種類	長さ 幅 厚 重	石材	特徴	備考
第7400 395	3	D10JE	第8遺構面 ベース層	刮片	長 122.0 幅 29.0 厚 16.0 重 32.56	サヌカイト	各面が大きな割離面で構成される。割離に若干の使用痕あり。自然及び基部に風化面。	あるいは石鏝の未製品か。
第9820 424	3	D10SG	第9遺構面 263-OS	石包丁	長 93.0 幅 61.0 厚 7.0 重 56.75	玄武岩質凝灰 岩質片岩D	直線刃。又は弱い内湾刃。必ず認められない。緑灰色。研磨はていねい。	
第9820 425	3	D10KJ	第9遺構面 365-OS	石鏝未製品	長 49.0 幅 30.0 厚 12.0 重 21.35	サヌカイト	上下両端を欠失。両側縁に粗い細部調整。	あるいはスクレイパーか。
第9820 426	1	D10EV	第9遺構面 284-OO	石鏝未製品	長 31.2 幅 18.0 厚 3.0 重 1.44	サヌカイト	表面風化著しい。左側縁に顕著な細部調整が認められない。	
第9820 427	4	D09TL	第9遺構面 238-OO	ナイフ形石鏝	長 34.0 幅 14.5 厚 4.0 重 1.89	サヌカイト	小型ナイフ形石鏝。風化著しい。	田石鏝
第9820 428	4	D09TL	第9遺構面 238-OO	不定形刃鏝	長 65.8 幅 35.0 厚 5.0 重 17.72	サヌカイト	割離にまばらな細部調整あり。自然は主割離面をとどめる。	
第9820 429	4	D09TL	第9遺構面 238-OO	不定形刃鏝	長 104.0 幅 59.8 厚 11.0 重 68.29	サヌカイト	側縁に粗い細部調整。背に一部に風化面を残すが、若干の細部調整があり、背によって磨耗している。自然は主割離面を大きくとどめる。	
第9820 430	3	D10SH	第9遺構面 ベース層	石鏝	長 26.8 幅 17.5 厚 2.0 重 0.81	サヌカイト	四角無蓋式。おたくりは浅い。両面中央に大きな割離面がある。基部から中央にかけて縦方向の行着物が認められる。	
第9820 431	3	D10NJ	第9遺構面 ベース層直 下	切目石鏝	長 72.0 幅 31.0 厚 8.5 重 29.00	砂岩A	上下両端に5-7mmの切りこみが入る。緑灰色。	
第9820 432	3	D09XX	第9遺構面 ベース層	スクレイパー	長 45.0 幅 80.0 厚 7.2 重 46.23	サヌカイト	お側縁に連続した細部調整。風化著しい。	
第9820 435	6	A06HD	第9遺構面 ベース層	刮片	長 64.0 幅 30.0 厚 14.0 重 46.07	サヌカイト	両縁の一部に粗い細部調整。右側縁には使用痕。	
第10200 434	3	D09UU	第10遺構面 ベース層	石包丁	長 77.0 幅 37.0 厚 6.0 重 38.75	玄武岩質凝灰 岩質片岩A	片刃の直線刃。刃のある方の面は、風化が著しい。穿孔しようとしてとりやめた痕跡あり。	
第10200 435	6	A06GD	第10遺構面 ベース層	刮片	長 58.0 幅 49.0 厚 16.5 重 39.73	サヌカイト	風化著しい。	田石鏝
第10700 442	3	D10QE	第11遺構面 ベース層	スクレイパー	長 100.0 幅 61.0 厚 22.0 重 146.21	サヌカイト	側縁に連続した細部調整。背に粗い細部調整。下端に風化面。	
第10700 443	3	D10KJ	第11遺構面 ベース層	石包丁	長 72.0 幅 46.0 厚 2.5 重 18.31	玄武岩質凝灰 岩質片岩D	直線刃。緑灰色。刃部に平行する条線、やや斜行する条線が認められる。	

第13表 石器観察表

No. 4

番号	区	地区	層位・遺構	種 類	長さ 幅 厚 重	石 材	特 徴	備 考
第107回 444	3	D10TB	第11遺構南 ベース層	叩石	長 114.0 幅 108.0 厚 62.0 重 1024.84	砂岩目	両面に顕著な打撃痕。2次焼成をうけ、A面は黒変。B面は赤変。暗灰色。	
第112回 445	3	D10TK	第12遺構南 ベース層最 上層 石器集積②	不定形石器	長 134.0 幅 54.0 厚 13.0 重 114.87	ヤスカイト	側縁に細部調整。B面下端に風化面。	第111回参照
第112回 446	3	D10TK	第12遺構南 ベース層最 上層 石器集積①	不定形石器	長 103.0 幅 71.0 厚 14.0 重 127.62	ヤスカイト	側縁に細部調整。A面の一部、B面に風化面。	第111回参照
第112回 447	3	D10TK	第12遺構南 ベース層最 上層 石器集積①	不定形石器	長 133.0 幅 104.5 厚 20.0 重 340.96	ヤスカイト	側縁に細部調整。両面に主割断面とどめる。背に風化面。	第111回参照
第112回 448	3	D10TK	第12遺構南 ベース層最 上層 石器集積②	鑿状剥片	長 151.8 幅 84.0 厚 24.0 重 272.33	ヤスカイト	両面に大きな割断面をのこす。背に風化面。	第111回参照
第112回 449	3	D10TK	第12遺構南 ベース層最 上層 石器集積③	鑿状剥片	長 176.0 幅 139.0 厚 39.0 重 1462.85	ヤスカイト	A面に主割断面。B面に古い時期の割断面とどめる。	第111回参照
第112回 450	3	D09X	第12遺構南 ベース層	叩石	長 38.0 幅 50.0 厚 40.0 重 91.41	砂岩	全体によく研磨されており、打撃痕は認められない。灰色。	
第112回 451	3	D10LA	第12遺構南 ベース層	不定形石器	長 84.0 幅 39.0 厚 11.0 重 35.99	ヤスカイト	側縁にやや粗い細部調整。	
第112回 452	3	D09QY	竊居土層	不定形石器	長 72.2 幅 44.0 厚 14.0 重 44.56	ヤスカイト	側縁には連続した細部調整。両面に大きな割断面。背に風化面。	
第112回 453	3	D09OB	竊居土層	剥片	長 32.2 幅 31.0 厚 8.5 重 7.8	ヤスカイト	一部に細部調整。あるいは使用痕が認められる。	
第112回 454	3	D10YK	竊居土層	不定形石器	長 108.0 幅 46.0 厚 15.0 重 78.96	ヤスカイト	側縁に連続した細部調整。背に風化面。	
第112回 455	1	D10EV	地山直上	鑿状剥片?	長 82.4 幅 35.0 厚 12.0 重 32.65	ヤスカイト	表面の風化著しい。	旧石器
第112回 456	1	D10GW	地山直上	剥片	長 101.0 幅 34.0 厚 12.0 重 58.33	ヤスカイト	A面右側縁に粗い細部調整。風化著しい。	旧石器
第112回 457	1	D10EV	地山直上	スクレイパー	長 56.2 幅 42.5 厚 17.5 重 55.93	ヤスカイト	側縁に細部調整。刃部磨利。	
第112回 458	1	D10DU	地山直上	スクレイパー	長 52.0 幅 30.0 厚 7.0 重 18.86	ヤスカイト	側縁に細部調整。A面に風化面。	

第13表 石器観察表

No. 5

番号	区	地区	層位・遺構	種 類	法量 ^{単位} g	石 材	特 徴	備 考
第116区 459	1	D00GU	地山直上	スクレイパー	長 46.0 幅 36.0 厚 15.0 重 33.91	サヌカイト	全周縁に微い線部調整。B面に 風化面。	
第116区 460	1	D00EU	地山直 292-00	スクレイパー	長 84.0 幅 64.5 厚 25.0 重 64.62	サヌカイト	背の一部に風化面を残すが、そ れ以外の周縁に線部調整。上下 両端が磨耗。	
第117区 461	3	D09VW	地山直上	石鏃	長 42.0 幅 12.0 厚 3.8 重 1.60	サヌカイト	凸基無蓋式。揮葉形を呈し鋭角。 基部のごく一部を欠失。	
第117区 462	3	D09WY	地山直上	石鏃	長 38.5 幅 19.0 厚 5.9 重 4.31	サヌカイト	凸基無蓋式。先端を欠失する。	
第117区 463	3	D09OT	地山直上	石鏃	長 27.0 幅 16.3 厚 3.0 重 1.26	サヌカイト	凹基無蓋式。やや肩がはる。	
第117区 464	3	D09WX	地山直上	石鏃	長 27.5 幅 22.0 厚 3.5 重 1.84	サヌカイト	凹基無蓋式。先端欠失。	
第117区 465	3	D09OY	地山直上	石鏃	長 15.0 幅 21.0 厚 2.0 重 1.12	サヌカイト	凹基無蓋式。上下欠失。B面に 風化面。	
第117区 466	3	D09MW	地山直上	角錐状石鏃	長 78.0 幅 18.0 厚 9.0 重 12.02	サヌカイト	断面台形。先端は断面三角形に 尖らせる。	印石器
第117区 467	3	D09WY	地山直上	スクレイパー	長 73.0 幅 44.0 厚 9.0 重 32.87	サヌカイト	両側縁に線部調整。下端に風化 面。	
第117区 468	4	D09VN	地山直上	刮片	長 65.0 幅 49.0 厚 9.0 重 28.70	サヌカイト	周縁に微い線部調整。背に風化 面。風化番しい。	あるいはスクレイ パーか？
第117区 469	3	D09XY	地山直上	不定形刃器	長 62.0 幅 55.5 厚 13.0 重 44.94	サヌカイト	周縁に線部調整。	
第117区 470	4	D09UO	地山直上	刮片	長 73.0 幅 39.2 厚 11.0 重 35.35	サヌカイト	A面には縦長の刮片を刻彫した 痕跡。B面は主刃部面をとどめ る。	印石器

第14表 金属器観察表

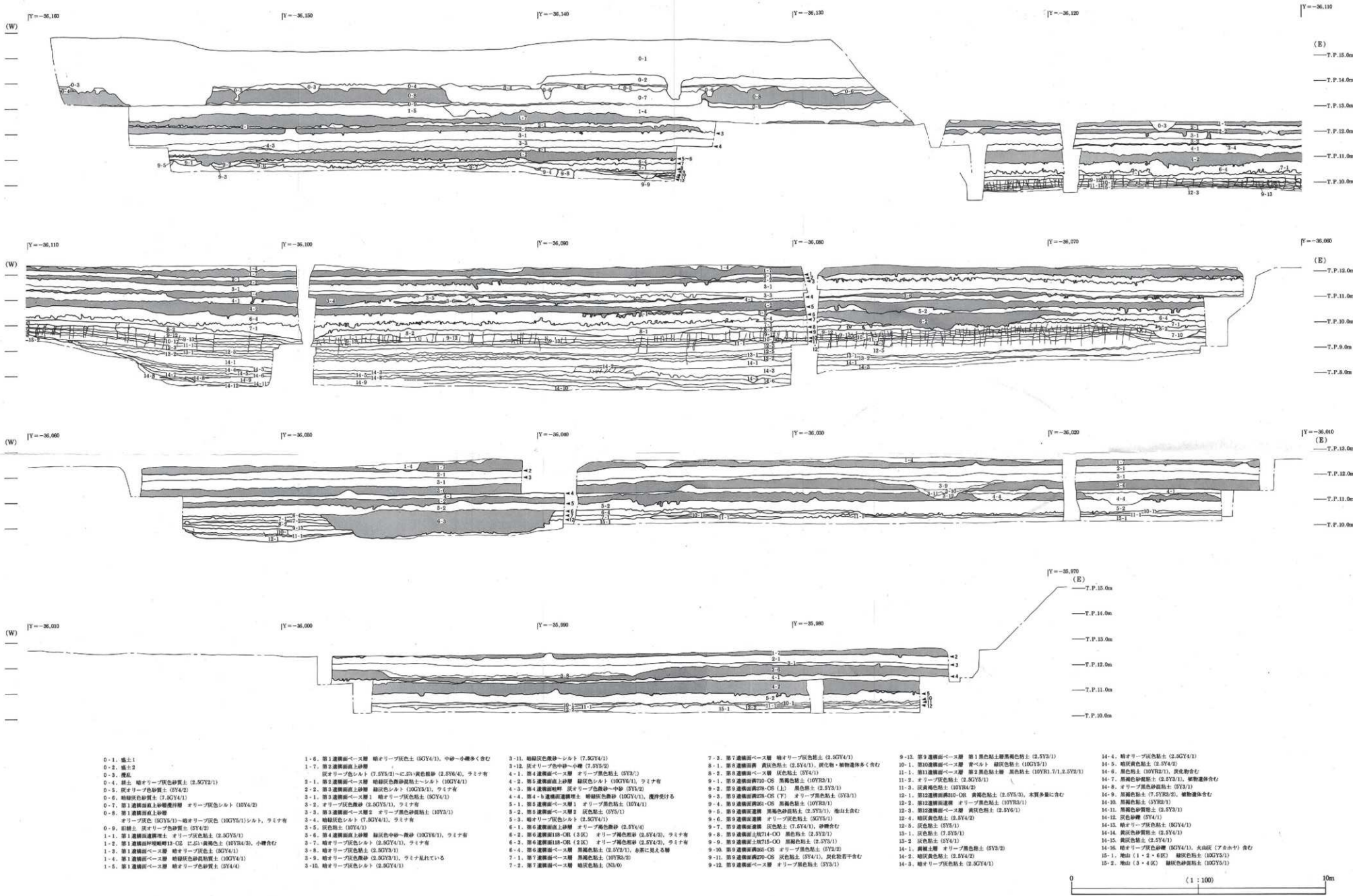
番号	区	地区	層位・遺物	種類	法量 cm	特徴 その他
第11800 471	4	D08SO	第4遺構面 ベース層	鉄鏃	残存長 15.0	
第11800 472	3	——	第7遺構面 ベース層	鏃状鉄製品	残存長 7.9 厚 0.15	先端部は腐食のため形状不明。
第11800 473	4	D09QN	第5遺構面 直上砂層	鉄釘	全長 9.2 幅 0.5	完存。
第11800 474	6	A06GR	第5遺構面 ベース層	鉄釘	全長 9.55 幅 0.65	完存。
第11800 475	3	D10IA	第6遺構面 ベース層	鉄釘	全長 9.9 幅 0.4	完存。
第11800 476	3	D10ME	第7遺構面 ベース層	鉄釘	残存長 10.0 幅 0.45	頭の部分の一部欠損。
第11800 477	3	D10NH	第6遺構面 118-OR		全長 6.25 幅 0.4	ほぼ完存。
第11800 478	3	D10MP	第6遺構面 118-OR	鉄釘?	全長 4.2	ほぼ完存。
第11800 479	7	D09NL	第5遺構面 ベース層	鉄釘?	残存長 2.6	
第11800 480	5-6	D10NR	第6遺構面 118-OR	刀子	残存長 15.1 厚 0.9	刀身部分の腐食が著しい。
第11800 481	3	D10JA	第6遺構面 ベース層		残存長 16.6 幅 0.5	
第11800 482	3	D10SB	第6遺構面 ベース層	馬鐮の刃	全長 19.9 幅 1.1	完存。
第11800 483	3	D10UH	第2遺構面 直上砂層	刀子	全長 37.8 寬 14.0	柄部分の遺存状態は良好。木釘残存。刀身部分は刃部の腐食を除き、遺存状態良好。
第11800 484	3	D10MC	第6遺構面 130-OS	U字形鋤先	全長 12.0 幅 13.5	ほぼ完存。
第11800 485	4	D09PL	第5遺構面 直上砂層	鉄貨	径 1.9 厚 0.1	金餅十二銭の1つ。「寛平大宣」寛平2(890)年初鑄。
第11800 486	5-4	D15EQ	第2遺構面 直上砂層	鉄貨	径 2.4 厚 0.05	「正隆元宣」。金の正隆3(1108)年初鑄。
第11800 487	4	不明	不明	鉄貨	径 2.15 厚 0.1	「寛永通宝」。
494	5-6	D10MP	不明	鉄釘	残存長 8.1 幅 0.5	先端部分の欠損。

報告書抄録

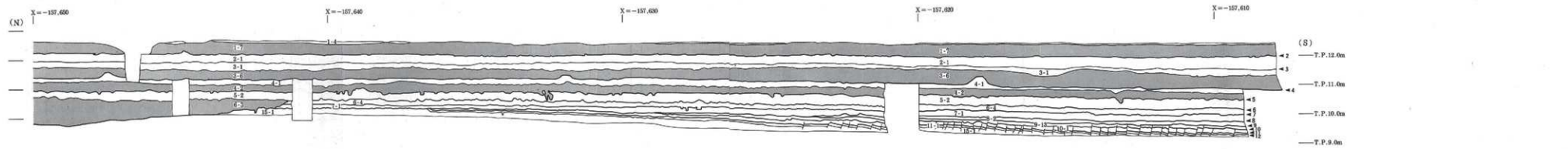
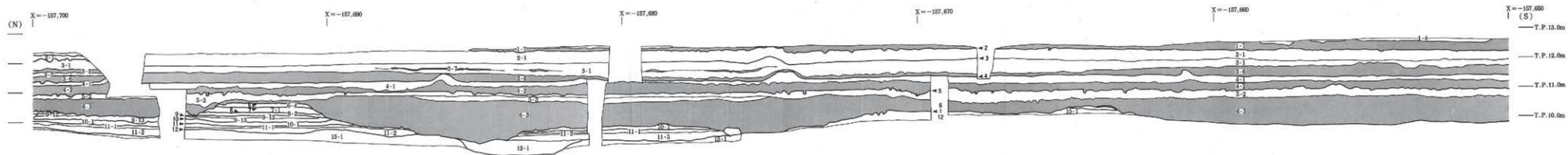
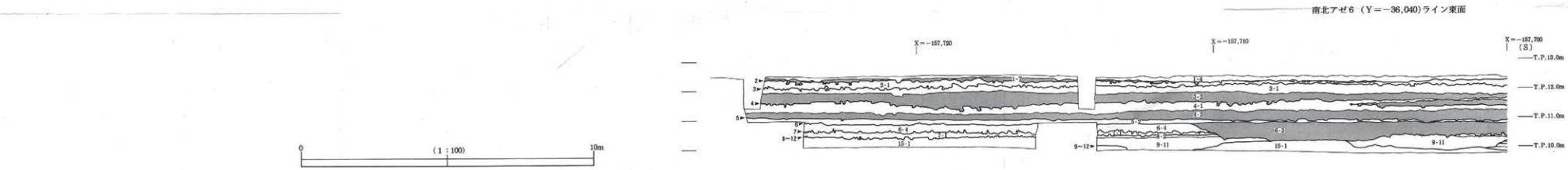
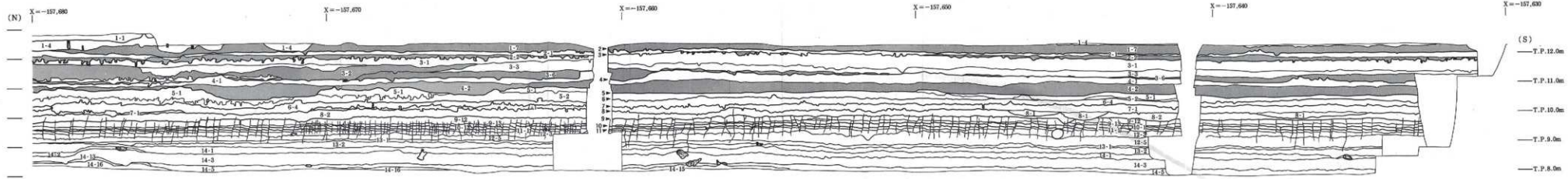
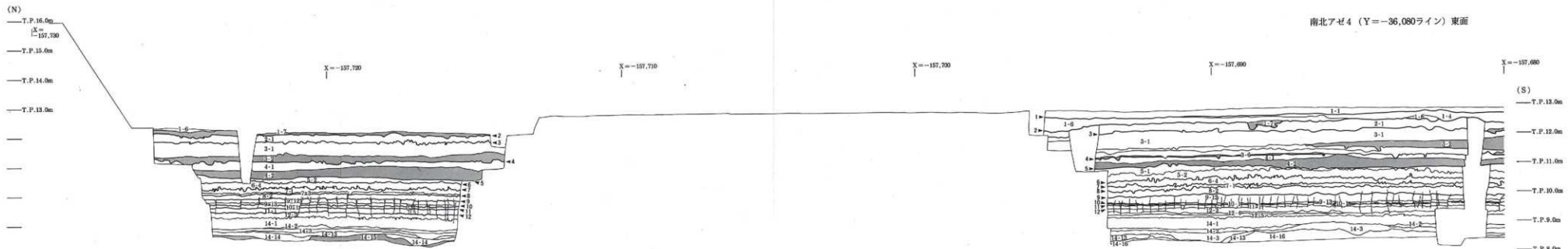
ふりがな	にしおおいせき
書名	西大井遺跡
副書名	大和川下流東部流域下水道事業大井処理場建設に伴う発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	財大府文化財調査研究センター調査報告書
シリーズ番号	第1集
編著者名	大野 薫・駒井正明・川瀬貴子
編集機関	財団法人 大阪府文化財調査研究センター
所在地	〒536 大阪市城東区彌生2丁目1番3号 小森ビル4F 06-934-6651
発行年月日	1995年(平成7年)9月30日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 °' "	東経 °' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
にしおおい 西大井	おおいせきふかふか 大阪府藤井寺市 おおいせきふかふか 大井2丁目			34°	135°	19930609	9,790㎡ 200㎡	大井下水道 処理場建設に 伴う調査
				34'	36'	19940325		
				40"	25"	19940405		
						19940630		

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
西大井	墓地 水田	旧石器 縄紋 弥生後期 ～古墳前期 古墳前期 ～後期 奈良 平安～江戸	 サヌカイト石器 集積 土坑墓群・溝 小区画水田・溝 流路 条里型水田	ナイフ形石器・ 角錐状石器 縄紋土器・石器 黒漆塗直弧紋板 多量の木製品 墨書土器・土師 器	弥生時代後期～ 古墳時代前期の 土坑墓群の北東 端を明らかにし た。 古墳時代の黒漆 塗直弧紋板をは じめとする多量 の木製品が出土 した。 平安時代～江戸 時代の5面の条 里型水田の変遷 を明らかにした。



西大井遺跡 付図1 東西アゼ2南面 (X=-157,640ライン) 土層断面図



西大井遺跡 付図2 南北アゼ4 東面・南北アゼ6 東面土層断面図